

平成 29 年度

第 3 回

亀山市立図書館整備推進委員会会議録

平成 29 年度 第 3 回亀山市立図書館整備推進委員会会議録

日 時 平成 30 年 2 月 23 日（金）午後 2 時 30 分開会

場 所 亀山市役所 本庁舎 3 階 大会議室

出席者 服部教育長、横山委員長、中井副委員長、川口委員、豊田委員、
若菜委員、鈴木委員、片岡委員、桑名委員、川辺委員、栗本委員、
坂口委員、亀渕委員、嶋村委員

欠席者 山本委員・上田委員・松本委員・佐久間委員

事務局 亀山市教育委員会生涯学習室 亀山室長、小坂、安藤
亀山市立図書館 井上館長、若林
(株)東畑建築事務所名古屋事務所 高木設計室長

傍聴の承認

【事務局】 傍聴者について承認いただけるか。
【一同】 異議なし。
【事務局】 傍聴を認める。

■開会

【事務局】 第 3 回亀山市立図書館整備推進委員会を開催する。配布済の資料を確認する。

1. あいさつ

【教育長】 今回は、インフルエンザ等のため、市職員委員の欠席が増えたことまずもってお詫びする。基本計画の 3・5・6 章を特にしっかりと議論していただきたい。当計画案については、確定したものではないが、そのイメージをつかんでいただきたい。その中で、皆様方の思いや考えを出してほしい。

【横山委員長】 先の教育長のお話にもありましたように、計画案を皆様方には確認していただきたい。忌憚のない意見をお願いいたします。

2. 会議録、委員意見の確認

【横山委員長】 事前に配布された「第2回 亀山市立図書館整備推進委員会会議録」について、修正等があれば教えていただきたい。

【横山委員長】 他になれば、何かお気づきの点があれば事務局の方へお願いしたい。次に、前回の委員会において川辺委員から意見をいただいている。この件に関して説明等あればお願いしたい。

【事務局】 「第2回 亀山市立図書館整備推進委員会委員質問」により事務局説明

【川辺委員】 計画案を出していただいたが、その費用についてはどのように考えているのか。絵にかいた餅にならないよう、財政面は適切に検討してもらいたい。

【事務局】 体制や運営費の拡充は必要と事務局では考えている。適正なランニングコストを算出する予定である。また、中長期的な展望のもとで人員配置も検討していく。

3. 報告事項

(1) 最新の図書館の状況について

＜中井副委員長から「にぎわいのある『場』としての図書館」について講義＞

【横山委員長】 中井先生の講演の中で、学べる点が多くある。レイアウト、複合的側面、地域の居場所としての図書館の必要性、大変勉強になった。居場所としての図書館の機能を作っていくことがいかに大切であるかが理解できる。亀山市の地域の居場所を作っていくことが必要であると思う。何か質問等あればお願いします。

【豊田委員】 愛知川などの図書館は「にぎわい」ができるよう狙って計画を作られたものなのか？

【中井副委員長】 滋賀県などでは準備室を市が作り、しっかり議論を行って図書館を造っており、その結果、成功したのではと考えている。狙って成功ではなく、やはり結果として成功したのではないか。また、カウンターが離れているのは、大事なポイントになると思う。

(質問はなく次の事項に入る)

4. 協議事項

(1) 亀山市立図書館整備基本計画案について

＜事務局より説明＞

【川辺委員】

管理運営とも関わる部分であるが、子育て支援センター機能を持たせるという点で託児などと記載があるが、あいあいの子育て支援センターとの連携はどうするのか？

また、どのくらいの職員を配置するのが疑問。小さいお子さんと共に親子で来やすい居場所づくりを優先する方が良いのではないか。子どもの本専門の司書を配置して、そこからあいあいにつなぐというのも良いかと思うがどうか？

受付貸出窓口の件について、自動貸出機は賛成です。それによって生じた職員の労力を来館者サービスの充実に向けることができればよい。

【片岡委員】

私も川辺委員と同様、子育て支援センターとしての機能を図書館が担うのはどうかとは感じる。子どもを一時預かりして、親が本を探すというのもあるが、知らない人に子どもを預かってもらうと、かえって子どもが泣いたりして図書館が騒がしくなってしまうのではないか。親子で一緒に本を探せるスペースを作ることが必要。安心して親子で探せる居場所づくりが必要ではないか。

【事務局】

実際、子育て支援センターという機能を図書館に移管するというニーズは、ワークショップでも意見としてそんなに出てきていない。子育て相談などはあいあいのサテライト的な位置付けで行い、託児も隔日で行うなどもあるかと考えており、どのように附帯機能として入れるか整理したい。

【横山委員長】

資料ではセンターを置くととれる記載がありますので、この点は修正してはどうか。

【川辺委員】

また、本棚の高さを子ども目線に下げるなどの工夫は必要と思う。

【川口委員】

私は、託児室に需要があるのか少し疑問に感じる。プレイコーナーも絵本室の中にあればよいと思う。あと、資料にある動と静のエリア分けについて、動のエリアがとても多く、とても騒がしい図書館になってしまうのではと心配する。開架図書エリアを充実することが大切である。

【横山委員長】

誤解を招かない様なゾーニング図は必要だと思う。

【事務局】

施設計画の中では具体的に書き込んでいく必要があると思うが、基本計画では、『整備に配慮する』などのように書きこむことになると思う。

【横山委員長】

今はこれらの資料は、あくまで計画のコンセプトという観点で見ただければと思う。

【事務局】

ご指摘の通り、図書館の本体の部分、附帯機能の部分が不明確かと感じるので、もう少し誤解のないように記載について配慮したい。

- 【栗本委員】 バリアフリーとあるが、外国籍の方が多いとも思うので、外国籍の方の意見も採り入れてもらえるのか？
- 【事務局】 バリアフリー、ユニバーサルデザインは当然のこととして、アクセシビリティ、寄り添っていく視点については、特に管理運営面では大切であると考えている。誰もが理解できるサインなど、施設そのものだけではなく、利用者に寄り添う視点が大切にしたい。
- 【桑名委員】 駐車場 90 台は必要とあるが、これを整備するランニングコストは大きな問題である。若い世代にも愛される図書館を造ってほしい。また、高齢者にとっても行きやすい図書館をつくるのが大切である。
- 【若菜委員】 事例の写真もイメージがわきやすく良いと思う。全てのところが実現できるかは難しいがあるが、これからの子どもたち、学生たちにとって学習スペースの充実もしていただきたいと思う。
- 【豊田委員】 今回示された資料では、新しい図書館の特徴が何かが見えてこない。亀山市らしさをもっと出してほしい。
- 【桑名委員】 駅から降りた来訪者が亀山の街をイメージし、散策してみたい、図書館に入ってみたいと思えるような建物のデザインの配慮をして欲しい。
- 【事務局】 限られた空間で、いかにその中で多機能性を持たせるかが大切ではあると考えている。いかにうまく共用していくのかという考え方、サテライト機能の活用、また、博物館等への利用の促進も含めて、図書館の機能を有効に使っていききたい。
- 市民や市外からの来訪者に亀山を知ってもらえる場としての活用も大切であるとする。そのあたりも含めて方向性を示していきたい。
- 【中井副委員長】 目次について、順番、文言等に違和感がある。また、2 章基本構想の概要の書き方もおかしいのではないかと。ここは「構想」ではなく、計画としてめざすものに修正すべきと思う。まさに 2 章が大切で、ここが一番の肝になってくるかを感じる。図書館の話をする前に、第3章の附帯機能の話が先に来ているというのは問題があるのではないかと。
- さらに、4 章も先に議論すべきであると思う。2・4 章で図書館のあるべき姿を伝えることが大切だと思う。一方、附帯機能という言葉も少し違和感を覚える。附帯機能ではなく、その機能そのものも図書館であると書く方が良いのではないかと。図書館としてのあり方を今一度検討してほしい。
- まずは、図書館としてのゴールを示し、附帯的な活動について考えることが大切ではないかと。そして、5 章でそれを実現するた

めの施設計画（建築計画）を明示することが大切である。音のゾーニングやアクセシビリティの充実もしっかり明示してほしい。施設計画も考え始めていくと良いかと感じます。

ところで、桑名委員がおっしゃった駐車台数の検討について、この根拠データはわたしから提供した。みんなが来られるように考えてから、駐車台数を検討することが大切であると感じる。そして、根拠として論文のタイトルをクレジットとして書いておいてほしい。

【横山委員長】

もう一度中井先生と事務局でそのあたりを整理してもらいたいと思う。

今日の協議事項について、事務局の方に言い足りない部分は改めて言っていただきたい。

5. その他

【横山委員長】

それでは、事務局から連絡事項等願います。

【事務局】

次回の委員会日程ですが、3月29日(木)の午後2時30分から、あいあい大会議室で開催する。

どうもありがとうございました。

以 上